

令和7年度

大江町総合教育会議会議録【要旨】

期 日：令和7年12月19日

大江町教育委員会

- 1 招集年月日 令和7年12月3日
2 招集の場所 大江町中央公民館 町民ホール
3 開会年月日 令和7年12月19日 午後3時
4 会議に出席した者

大江町長	松田清隆
大江町教育委員会委員	山家貴代
大江町教育委員会委員	阿部国彦
大江町教育委員会委員	鴨田幸恵
大江町教育委員会委員	鈴木隆之
大江町副町長	菅野光昭
大江町立大江中学校校長	志田雅彦
大江町立左沢小学校校長	白田克幸
大江町立本郷東小学校校長	田代近子
大江町立本郷東小学校教頭	駒林雅幸
大江町立大江中学校教頭	小笠原美鈴
大江町立藤田の丘分校教頭	高橋一徳
総務課長	五十嵐大朗
総務課長補佐	千葉利枝
教育文化課長	金子冬樹
学校再編準備室長	須貝和幸
教育文化課長補佐	高瀬こずえ
再編推進係長	齋藤春樹

- 5 協議事項 (1) 大江町教育振興計画について

1. 開 会

課長の進行

2. あいさつ

松 田 清 隆 大江町長

3. 大江町教育振興計画について

清 野 均 教育長

4. 協 議

教育文化課長より、会議招集者である町長を議長とすることを確認

松田町長が議長となり会議を進行

松田町長（議長）

計画策定ということでは今後の大江町の教育の方向性ということを示していくこととなります。そのような中で令和 10 年度に左沢小学校と本郷東小学校の統合が控えておりますので、統合に向けた取り組みや課題等についてご意見をいただきたい。

白田校長

大きな教育課題ということでは、全国で不登校が 35 万人です。もの凄いな数です。子どもたちにとって小学校統合は、環境が変わる、クラスが変わる、地域も変わる。そのことを踏まえると私たち教師の責任というものは非常に大きいと感じています。

本郷東小学校の先生方とも話しをしています、それぞれの小学校の現在の取り組みを共有し、それぞれの学校の良さを取り入れていきたいと考えています。

小学校が統合した時には、5 年生 6 年生はクラス増になります。そういうことを踏まえると統合に向けた準備を、子どもたちを中心に考え丁寧に進め、統合が実りあるものとなるようにしていかなければならないと思います。

小学校が統合した時に、子どもたちが学校にきて学校が楽しいな、友だちがたくさんいてうれしいな。そんな学校にしていけるよう統合に向け準備を進めているところです。

田代校長

子どもが、安心して小学校の統合を迎えられる環境を整えたいと考えています。本郷東小学校で大切にしてきたこと大事にしながら、左沢小学校の子どもたちと共有できることは何かというところを教員同士や子どもたちとも話し合うことで共有して進めていきたいと考えています。

今の 3 年生以下の生徒が、左沢小学校と一緒にあった時にどういう準備が必要なのか、委員

会活動であったり運動会であったり今から同じ目線ですめることが大切であります。

今も一緒に授業をしたり活動も進めています。ICTなども活用しながらの交流なども進め、みんな大江町の小学校の一員だよ、ということを職員もそして子どもたちとも共有し、令和10年の統合時に、安心して楽しく進んでいけるように、そして大江町の小学校の一員として活躍できるように力をつけていければと考えています。

松田町長（議長）

今、話をお聞きして教育委員会そして町としても統合に向けて交流活動や準備を含め一定程度の期間を経ての統合という方針を決めてきた経過を改めて考えたところです。

統合前に、子どもたちが同じ学校の仲間になるんだよ、という気持ちの中で進んでいくことが大切だとお聞きしたところです。

小学校の教頭先生からもご意見を伺います。

駒林教頭

子どもたちが大人になって、学びや就職などで町外に出る機会があります。小学校、中学校の時にふるさと教育や地域の人の関りを大切にした教育を充実することによって、子どもたちの意識の中にも大江町の人々の温かさやふるさとの良さということが心に残り、ふるさとっていいなと思ってもらえるように、小中学校のときの教育ということは大切だなと感じています。

地域と共にある学校づくりということを考えた時に、どうしても私たち教員は視野が狭くなりがちで、様々な職種の人々の話を聞くと視野が広がったりします。例えば、今日のような会議の時など、学校運営協議会の代表の方や幼稚園・保育園の方や保護者の人のからも関わってもらおうということも大切なかなと感じたところでもあります。

松田町長（議長）

これまでも、様々な立場の人から協議会等に参加いただいて意見をいただいたり、学校のあり方の基本方針作成の際にも、意見をいただきながら進めてきています。

小さい町ですので、様々な方と連携をとりながら進めていくということは大切になってきます。子どもたちをどう育てていくかという、大きな視点での意見交換も大切なものだと思います。今、いただいた意見につきましては、今後の学校の基本構想・基本計画の策定もすすめていますので活かしていきたいと思えます。

次に、藤田の丘分校の教頭先生お願いします。

高橋教頭

本校は、大江町以外の子どもたちを預かっての学びを進めています。また、施設の見学なども含め様々な方がおいでになります。その時に町からの支援等についても非常に感心されて帰ります。

また、地域のボランティアや行事などにも参加するなど、地域の方からも関わっていただいております。非常にありがたいと感じています。

これからも、教育委員会や小中学校と連携をとり、子どもたちに寄り添いながら進めてい

きたいと考えています。

松田町長（議長）

これまで、先輩方と地域の方がつくり上げてきた関係が現在につながっていると思います。これからも、町や地域の方との交流などにより子どもたちの成長に繋がっていくことが大切だと感じています。

次に、教育振興計画にもありますが令和 10 年小学校統合、その先の義務教育学校の創設について現在、教育委員会で進めているわけですが、今度は中学校という立場でのご意見をいただきたいと思います。

志田校長

先日の 50 周年式典に出席いただきありがとうございました。50 周年を振り返った時に、大江中学校の設立にあたり、東北一の設備であるなど、本当に町民のみなさんから期待されて、この 50 年があるのだという責任と重みを改めて感じたところです。

中学校は、これまで部活動が忙しくて地域の活動にもなかなか参加できないというイメージがあったと思います。今は、部活動も任意加入制となって部活動に入らない子どもも多くなってきました。このような中で、夏休み中に中学生が奉仕活動に取り組むことができないかということやをずっと思っていました。今年、区長さんに説明する機会をいただき、夏休みにボランティア活動を行うことができました。

この活動が、今後地域の中で子どもたちの活動が広がって欲しいと感じています。子供たちはいろんな人に認められると自己有用感が育ちます。そういうことを意図的にもっていくというのも大事だと思います。

そして、自分の子どもということだけでなく、みんなが大江町の子どもという視点で捉えられるようになると、より良い方向に進んでいくのだと感じます。

松田町長（議長）

今、部活動の地域展開を進める中で吹奏楽の活動が具体的に行われています。これは、子どもから大人までみんなが参加していきましようという活動を目指しているものです。これは、1 例ですが、そういったことが広がって地域のつながりに繋がって欲しいと考えますし、そのような活動がまちづくりにも繋がるものだと思います。

次に、教頭先生お願いします。

小笠原教頭

今回、吹奏楽の地域クラブであるバルカロールさんが自分が育った場所で小学生から大人の方まで一緒に活動でき、それが循環できて繋がっていけるようになればと思います。

大江町には素晴らしい施設がありますので、中学校の部活動も今後週 3 日間の活動になりますので、例えば様々なスポーツを体験でき学べる環境というのも今後大切になってくるのではないかと思います。

次に、特別支援関係の課題ですが、現在新規の場合、医療機関で検査するのも大変な状況に

あります。

是非、町の支援をいただきながら検査できる仕組みがありますと子どもたちに沿った支援に繋がっていくものと考えています。私たち教師も様々なことを学びながら教育を進められればと思っています。

松田町長（議長）

検査への支援ということでの課題は教育委員会からも聞いています。教育委員会の方で引き続き検討していくということになるのだと思います。

スポーツの体験ということでは指導者という課題などもあるかと思います。

O-s-t-e-p等の活用などができるのかどうなのか、子どもたちが参加してくれるのかなど課題を整理しながら進めていくものだと思います。

それでは次に、教育委員を代表して山家委員よりご意見を申し上げます。

山家委員

今回の教育振興計画は、郷を使った共生郷育ということで、思いのあるものになっていると感じます。子どもから大人まで含めてこの大江町で共に学び、そして幸せな人生を送りましょうということだと思います。この共生郷育を、町民のみなさんに分かり易く示していくということも大切になってくるのだと思います。

今日は、先生方もいらっしゃっていますが大江町の子どもは自力で解決する力がちょっと乏しい、また読書に対する意欲も少し乏しいという2つのことが課題として上がってきているようです。新しいことに取り組むのも大事ですが、もともとあるものをもう一度再確認するというのも非常に大事になってきます。

親子の関係というものを確かなものにしていくということに読書を関連させて、月1回でいいのでお父さんやお母さんなどに「教科書の読み聞かせる日」なんていうのも行ってみてはどうでしょう。なんて考えたりもしました。

また、大江町の子どもたちは挨拶が素晴らしいというのをよく聞きます。先生方の指導が素晴らしいのだと思います。あいさつは楽しいと思ってもらうために、大人も大きな声であいさつするというのも大切です。

大人も含めて教育ですので、地域みんなで取り組んでいくというのが大切だと今日の話聞きながら思ったところです。

5. 閉 会

閉会 午後5時00分